

精霊達は踊る

The spirits are dancing

KUNST ARZT では、昨年に引き続き、山羽春季の個展を開催します。山羽春季は、舞や演劇、フィギュアスケーターの動きを動画のコマ送りのように描き出す日本画家です。脳内再生したイメージから、即興的に描いていきます。本展は、これまで描き続けてきたギリシャ神話をモチーフにした作品のほか、近年、祭事や信仰にまつわる活動機会に恵まれた経験を生かした作品による構成です。

(KUNST ARZT 岡本光博)



嘆くオルフェオ

2021

モチーフ： オペラ・バレエ『orfeo und euridike』

経歴

1995 京都生まれ
2017 カッセル美術大学交換留学
2018 京都精華大学芸術学部絵画コース日本画学科 卒業

主な個展

2015 「氷上のエデン」 東京銀座かわうそ画廊
2018 「消滅と再生、幻想の物語」 ギャラリーフロール
2018 「Frieden」 KUNST ARZT
2019 「妖精の丘」 KUNST ARZT
2019 「Dance of spirits」 東京九段耀画廊
2020 「Orfeo in the underground」 KUNST ARZT
2021 「山羽春季 日本画展」 富山大和百貨店

主なグループ展他

2016 「巨人展小人展」 ギャラリーフロール
2017 「萌 -MEBAE-」 京都丸太町 Art Space MEISE
2018 「萌 -MEBAE-」 京都丸太町 Art Space MEISE
2019 「京都市新鋭選抜」 京都府文化博物館
2020 「ビクトリーブーケ」 佐藤美術館
2020 「神頼み 除災招福」 靖山画廊
2020 「New horizons」 Var West Gallery (USA)
2021 「Kyoto Art for Tomorrow 2021」 京都府新鋭選抜展
2021 「川瀬美帆・山羽春季 二人展」 東京九段耀画廊
2021 「WHAT is Art ? 展」 What CAFE

奉納

2021 霊明神社 菊理媛尊御神像（日本画）奉納

2021年11月16日（火）から23日（祝日）

12:00 から 18:00 22（月）休み

会 場：KUNST ARZT

605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

アーティスト・ステートメント

作品を描いて発表する他に、神社の御祭神像を描いて奉納したり、仏教の法要に使う散華の仕事や、ご朱印会で御朱印帳に絵を描くなど、祭事や信仰にまつわる活動を多くする機会に恵まれました。そうした仕事は絵柄や構図、色使いなど全てにおいて信仰上の意味や神像のシンボルなど祭事の意図が込められています。世界中の踊りも遡れば、祭事や信仰から生まれたものばかりです。そこで今回の個展では取材した京都の踊りや、世界の民謡の踊りなど、祈りと信仰の結び付きが強い作品を発表しようと思います。またこれまで描き続けてきたギリシャ神話をモチーフにした作品も発表します。



ケルベロス

2021

和紙、染料、墨、胡粉、岩絵の具

1900×1900mm

オペラ・バレエの『orfeo und euridike(オルフェオとエウリディーチェ)』をモチーフに描きました。ギリシャ神話の話で妻を亡くした夫のオルフェオが、絶対に妻の顔を見ずに地上まで連れて帰れば生き返るという約束でエウリディーチェを迎えに行く話です。エウリディーチェがいる天国に行くまでに地獄をオルフェオが通るのですが、そこにいる地獄の番人のケルベロスを描きました。中央にいる人物は罪人を食べるケルベロスです。地獄に落ちた罪人達はケルベロスに食べられては糞尿となり、人間に戻っては食べられ続ける拷問を受けます。背景には苦しむ罪人をたくさん描きました。



個展「orfeo in the underground」

2020展示風景

撮影:OFFICE MURA PHOTO



個展「妖精の丘」

2019展示風景

撮影:OFFICE MURA PHOTO